

## 研究実施に関する情報公開

当科において、下記の研究を実施します。

この研究においては、患者様のカルテに記載された臨床データを研究資料として使用させていただきます。患者様には臨床データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。また、研究対象者となる患者さんは研究実施されることに拒否することができます。その場合は産科婦人科スタッフ又は、下記問い合わせまでご連絡下さい。

<b>研究課題名：</b> 凍結融解胚移植における黄体補充についての後方視的検討
<b>研究期間：</b> 平成27年4月1日～平成30年3月31日
<b>対象材料：</b> 診療記録情報
<b>目的：</b> 凍結融解胚移植の黄体ホルモン補充において、合成黄体ホルモン内服を行った患者さんと、天然型黄体ホルモン陰錠を使用した患者さんの妊娠率や流産率、薬剤の安全性について検討し、その結果を踏まえ今後の体外受精の成績をさらに良いものにするを目的としています。
<b>研究対象：</b> 1. 2015年3月～2015年12月の期間に当院において体外受精を行い、プロゲステロン陰錠（ルティナス®）を使用した患者さん 2. 2014年1月～2015年5月の期間に当院において体外受精を行い、クロルマジノン酢酸エステル錠（ルトラール®）を使用した患者さん
<b>方法：</b> 研究対象となる患者さんの診療記録より、調査項目についてデータを収集する。この調査研究ではお名前、住所、電話番号、カルテ番号等の個人を特定できるような情報は伏せられたままデータを集計しますので、あなたのプライバシーは厳重に守られます。研究結果の発表に際しても個人が特定されない形で行います。なお、体外受精中に採取した血液やその他の検体を用いることはなく、患者さんに負担をお願いすることは一切ありません。
<b>問い合わせ：</b> 琉球大学医学部附属病院 産科婦人科医局 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 Tel:098-895-1177 Fax:098-895-1426 <b>【研究担当者】</b> 琉球大学医学部附属病院 産婦人科 大石 杉子 (対応可能時間 平日 9:00～17:00)

